



領域ホームページ

2024年度担当教員と研究・教育の領域、主要著書、論文、作品等



【教授】

笠原 芳隆

(かさばら よしたか)

kasahara@juen.ac.jp

肢体不自由児の特性に応じた教育課程・指導法や生活を見据えた支援のあり方等について、自立活動の実践、個別の指導計画作成・活用、個別の教育支援計画作成・活用等の視点から研究・教育を行う。論文：自立活動を中心とした個別の指導計画に関する研究動向（特殊教育学研究、第53巻第4号、2015年）



【教授】

河合 康

(かわい やすし)

kawai@juen.ac.jp

障害児教育の行政、制度、歴史を研究領域とし、わが国と欧米諸国について比較教育的観点から教育・研究を行う。主な著書：日本障害児教育史（戦前編）2018年（共著）、（戦後編）2019年（共著）（明石書店）、特別支援教育—一人一人の教育的ニーズに応じて—（編著）（福村出版、2019年）



【教授】

佐藤 将朗

(さとう まさあき)

smasaaki@juen.ac.jp

視覚障害児の読みに関する心理学的研究を中心に、視覚・知的重複障害児の触読技能と触覚的コミュニケーションの研究を行う。また健常児への障害理解教育についても構想している。論文：点字触読研究の展望—点字の読みやすさに関する研究知見の指導実践への応用—（特殊教育学研究、第55巻1号、2017年）



【教授】

八島 猛

(やしま たけし)

yashima@juen.ac.jp

病弱・身体虚弱児における適応の評価と支援に関する研究を行う。特に健康行動と関連がある自己認知について実践的に研究する。論文：青年初期の病弱児における自己評価の発達特性に関する横断的研究（特殊教育学研究、第56巻5号、2019年）



【特任教授】※1

大庭 重治

(おおば しげじ)

sohba@juen.ac.jp

視覚障害児、視覚障害のある重複障害児、視覚認知に関する特別な教育的ニーズのある子ども等を対象として、認知特性に応じた学習支援方法の検討とその評価を中心に、小・中学校や特別支援学校において実践的な研究を行う。著書：特別支援教育の探究（ミネルヴァ書房、2022年）



【准教授】

小林 優子

(こばやし ゆうこ)

yuuko@juen.ac.jp

聴覚障害者を対象とした環境音認知に関する実験的研究や講義場面における情報支援に関する研究、また認知・行動面に困難を有する聴覚障害児の指導法に関する研究を行っている。著書：聴覚情報処理検査〔APT〕マニュアル（学苑社、2020年）

